

平成22年度病害虫発生予報第2号(5月予報)

今月のトピックス

オオタバコガ（オクラ）

学名 : *Helicoverpa armigera*



成虫



幼虫



卵



幼虫は色彩変異に富む



蕾に食入する幼虫

生態と被害

本種は、野菜類・花き類・畑作物・工芸作物など、多くの作物を加害する世界的な大害虫であり、長距離移動性害虫としても知られる。成虫は体長約20mmで前翅は灰黄褐色、後翅は灰黄色で外縁部の褐色が明瞭である。卵は植物の先端部の茎葉や花蕾、果実に1個ずつ産下される。幼虫の体長は老齢幼虫で35~40mm、体色は緑色、淡黄褐色～茶褐色まで変異が大きく、白く明瞭な気門線・気門下線を有する。幼虫は5齢を経過した後、土中で蛹化する。

県内のオクラでは、5～6月頃から発生が増加しはじめ、葉・茎・新芽・花蕾・花(子房)・果実など、ほとんど全ての部位を食害する。移動と食害を繰り返すため、発生量が少なくても大きな被害を出すことがある。また、齢期が進むほど薬剤に対する感受性が低下し、蕾や果実内に食入するため、防除が難しくなる。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>